

にいがた

新築大作戦

(27)

全電化住宅で心配なのは電化代です。家内からも「電気代は大丈夫なの」で念を押されました。わが家では新築してから一年間、詳細な電力消費量の調査を行いました。

現在、電力会社はさまざまな契約方式を提供しています。わが家の場合、蓄熱式の床暖房（十一キロワット）、蓄熱式暖房機（二キロワット×三台）、電気温水器（八キロワット）と深夜電力を大量に使用しています。時間帯別契約というのが最も安いことが分かりました。

電気料金

時間帯別契約で安く

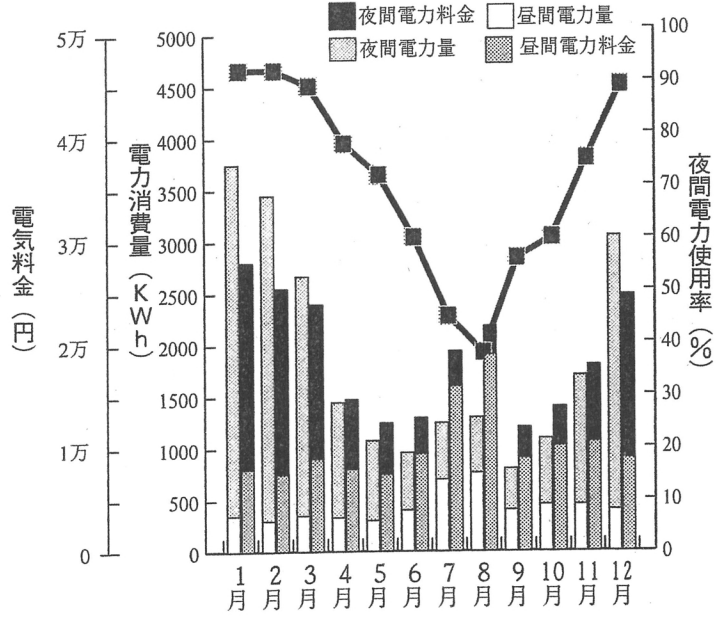
この契約は、「やりくりナイト」と呼ばれており、昼間の電気料金は通常の契約に比較して若干高めに設定してあります。が、夜間電力（午後十一時から午前七時まで）は、金は千八百円十千五百円

一キロワット時、五円八十五銭で三千三百円です。そこで使用することができ、暖房機を五時間通電機器として契約したところ、

合計二千九百八十円の割引があり、基本料金は三

■わが家の電力消費量と電気料金（1年間）■

	夜間電力	昼間電力
年間合計電力消費量 (kwh)	17597	5070
年間合計電気料金 (円)	102943	121680



で90%、夏でも50%程度を量っていますが、冬には暖房用のエネルギーが全体の65%、給湯用のエネルギーが23%で全体の88%のエネルギーが暖房、給湯に使用されています。夏は、冷房、給湯で全体の60%、冷蔵庫が12%、電磁調理器は全体の4%に約四十年かかることになり、断念しました。

用途別にも電力消費量 (赤林伸一・新大自然 科学研究科助教授)